

「ロシアにおける日本年」プレオープニングイベント(ロシア欧州部)
(説明書2(1))の実施に関する参考情報

一例として、出演者が「が～まるちょぼ」となる場合は、主に以下のような条件を確保することが期待されます。

公演時間

- 単独公演の場合、1公演当たり60～90分が目安。

会場

- 座席数は500～800席が最適であるが、1000席でも良い。ただし、300席以下の会場は狭すぎるので不可。
- パフォーマーの足下の細かい動きも観客からよく見えるような、客席に傾斜があるような会場が理想的。

出演に関連するロジスティクス

- 日本から派遣することとなるのは、が～まるちょぼ(パフォーマー)2名と、スタッフ2名の計4名となる見込み。機材も日本から携行する可能性がある。
- 現地での移動の際は、4名及び携行機材が一緒に移動できるようなワンボックスカーの利用を希望。機材があり得るため、セダンタイプの車は不可。
- 現地関係者とのコミュニケーションのため、基本的に日露通訳1名を常時必要とする。ただし、開演1時間前程度から確認・打合せに入る際は、一行4名が二手に分かれるため、その際は日露通訳が2名必要となる。
- 公演の際は、司会等は不要。
- 照明については、が～まるちょぼ側から参考映像を提供するので、それを会場の照明係に見てもらえれば、どのような照明操作が必要になるか理解してもらえるはず。
- 音響は使う可能性がある(ワイヤレスで音声を飛ばす機材があれば理想的)。
- 公演の際のBGMには、が～まるちょぼ側が日本から携行するCDを使用する。

インタビュー

- インタビュー(特にテレビ)には積極的に応じるので、多数アレンジしてほしい。
- インタビューの内容は、質疑応答だけでも、質疑応答とパフォーマンスの双方でも良い。ただし、後者の場合は、最初にパフォーマンス、その後質疑応答の順番のみ受入可能(逆の順番は不可)。

(了)